

企業のDX・AIビジネスを牽引するデジタル人材育成プログラムの拡充
～データサイエンティスト育成講座の拡充と「ビジネスアーキテクト」育成講座の新設～

東京海上ホールディングス株式会社(取締役社長、グループ CEO 小宮 暁、以下当社)は、2020年より外部提供しているデータサイエンティスト育成プログラム「Data Science Hill Climb」を拡充するとともに、新たに「ビジネスアーキテクト」の育成プログラムを開発し、2024年5月から外部へ提供を開始いたします。

当社グループの新たなソリューションビジネスとしてこれらの人材育成プログラムを提供し、企業のDX・AIビジネスを牽引する人材の育成を支援してまいります。

1. 経緯・背景

東京海上グループは、デジタルやデータを活用して保険金のお支払いに留まらない事前・事後領域で価値を提供し、社会課題を解決するため、当社グループにおけるデジタル人材の育成を加速させてまいりました。

2019年には、東京大学大学院工学系研究科の松尾豊教授に監修いただき、AIアルゴリズム開発ができる高度専門人材を育成するプログラム「Data Science Hill Climb」を創設しました^{※1}。本プログラムは、これまでに当社グループの従業員100名以上が受講し、卒業生が開発したAIアルゴリズムが事業で活用される事例も出てきています。2020年には同プログラムを外部に開放^{※2}し、異業種の受講生が切磋琢磨しながら相互理解を深める機会になっています。

また、DX・AIビジネスにおいては、データサイエンティスト等の専門人材に加えて、事業を企画・マネジメントし、組織を牽引する人材の育成も非常に重要とされています。2022年12月には、経産省とIPA(情報処理推進機構)が「デジタルスキル標準」^{※3}を策定し、DXを推進する5つの人材タイプのひとつに、社内外の関係者との協働をコーディネートする人材である「ビジネスアーキテクト」が定義されました。

当社においても「ビジネスアーキテクト」人材が中心となり、テクノロジー企業と連携して、国内の不動産業界および保険業界で初となる、オンラインでの投資用不動産の購入動線に火災保険の加入手続きを組み込む^{※4}仕組みを実現する等、成果につながっています。また、これまでの「Data Science Hill Climb」の受講者から「高度な専門性だけでなく、DX・AIビジネスの全体を牽引できる人材の育成も必要」との声が寄せられていたことも踏まえ、今般、新たに「ビジネスアーキテクト」育成講座を開発し、外部へ提供することいたしました。

(※1) 2019年2月15日ニュースリリース: AI・機械学習の活用に向けた専門人材育成プログラムを創設～東京大学大学院松尾准教授監修「Data Science Hill Climb」の運用開始について～(https://www.tokiomarinehd.com/release_topics/release/dhgn2a000000iuw7-att/190215_j.pdf)

(※2) 2020年5月18日ニュースリリース: AI・機械学習活用の専門人材育成プログラムを充実させ外部開放～「Data Science Hill Climb」の外部開放について～(https://www.tokiomarinehd.com/release_topics/release/l6guv30000008k8p-att/200518_j.pdf)

(※3) <概要編> デジタルスキル標準 Ver.1.0(https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/jinzai/skill_standard/20221221002-1.pdf)

(※4) 2023年5月8日ニュースリリース: GA technologies・東京海上日動・Finatext 投資用不動産マーケットプレイス「RENOSY」内で組込型火災保険の提供を開始(https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/company/release/pdf/230508_01.pdf)

2. プログラムの概要

(1) データサイエンティスト育成プログラム「Data Science Hill Climb」の拡充

従来の講座に LLM^{※5} 活用講座を新たに取り入れる等、プログラムを拡充します。また、従来は下表の No.1~3 の講座をセットで受講する必要があり、延べ 250 時間を超える長期育成プログラムとして運用してきましたが、受講者のニーズに応じて講座を選択して受講いただけるようにいたします。また、受講者のスキル習得に遅れが出ないように、受講者が個別に講師陣と相談ができる体制を整え、伴走支援を強化いたします。

2024 年 5 月初旬から順次開講していく予定です。

(※5) 大規模言語モデル(LLM: Large Language Models)とは、膨大な「計算量」「データ量」「パラメータ数」で構築された自然言語処理モデル。

【データサイエンティスト育成プログラム: Data Science Hill Climb】

No.	講座名	講義時間	講義形式	主なコンテンツ
1	基礎学習	約 90h	WEB 講義・e-learning	AI 倫理・機械学習・基礎数学・応用数学 ・プログラミング
2	応用学習	約 90h	WEB 講義・e-learning ・グループワーク	統計モデリング・深層学習(+Pytorch)・LLM 活用 ・AI プランニング
3	実践	約 77h	WEB 講義・e-learning ・グループワーク	演習・発表

(2) ビジネスアーキテクト育成プログラム「DX・AI ビジネス企画人材育成研修」の新設

DX・AI ビジネスを推進する上での基礎的な知識から、生成 AI プロンプトまで幅広く学習する講座です。また、AI 知財講座においては実際に弁護士・弁理士に相談することも可能です。

それぞれ 2~3 か月程度の受講期間を予定しており、2024 年 7 月から四半期毎に開講予定です。

【ビジネスアーキテクト育成プログラム: DX・AI ビジネス企画人材育成研修】

No.	講座名	講義時間	講義形式	主なコンテンツ
1	DX ビジネス	約 17.5h	WEB 講義・e-learning	DX 基礎・アイデアソン・プランニング
2	AI ビジネス	約 18.5h	WEB 講義・e-learning	対話型生成 AI・AI ジェネラリスト基礎 ・AI プロジェクトプランニング
3	AI 知財	約 15.5h	WEB 講義・e-learning	AI 知財契約・AI 特許

両プログラムは、当社内で実務を担うデータサイエンティストが、実際の事業企画の経験やこれまでの受講者のニーズを踏まえ、最適な育成コンテンツを組み合わせ開発しました。業界や企業規模に関わらず参加可能であり、受講者は、随時質疑応答ができる環境の中で、座学のみならず実務で抱える課題を取り上げて具体的なアウトプットを一緒に作りあげていく等、実践的な内容となっています。

3. 今後の展開

産業構造が変化する中で、企業が競争上の優位性を確保するためには、データ・デジタル技術を活用できる人材の確保が重要となる一方で、多くの企業ではそうした人材が不足しているといわれています。

当社として、今後は今回提供する講座に留まらず、データ分析・デジタル技術活用支援等を通じた、具体的な実装支援にまで事業を拡げ、社会全体のデジタル活用の一層の推進を支援してまいります。

以上